

2019年8月22日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

責任銀行原則への賛同表明について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{みけかねつぐ}三毛 兼承、以下 MUFG）は、金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げ、その実現に向けて地球環境の保全や多様な人権の保護などへの取り組みを進めています。

本日、MUFG は、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱する「責任銀行原則（PRB：Principles for Responsible Banking）」の本年9月の発足へ向けて、同原則への賛同を表明しました。

足元では、持続可能な社会の実現をめざそうとする持続可能な開発目標（SDGs）が広く受け入れられ、環境（E）・社会（S）への取り組みをビジネスモデルに組み込み、それらを統括するガバナンス機能（G）が優れた企業への投資を行う ESG 投資が、資産運用のメインストリームになりつつあります。

責任銀行原則は、SDGs やパリ協定などの国際社会の目標と整合した事業活動を銀行に促すことを目的に策定されたものです。

MUFG は、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」をめざして、経営トップの強いコミットメントの下、「ESG を重視した経営」を推進しています。

責任銀行原則は、こうした MUFG のめざす姿と一致するとの考えのもと、賛同を決定しました。

MUFG は「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」をめざして、ステークホルダーの皆さまとの対話を通じ、社会全体の持続的な発展と成長のため、ESG を重視した経営を加速し、企業価値向上に取り組んでまいります。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
代表執行役社長 三毛 兼承

以上